

平成 28 年度環境省えりも地域ゼニガタアザラシ管理事業実施計画【案】

「環境省えりも地域ゼニガタアザラシ管理事業実施計画」（以下「実施計画」という。）は、平成 28 年 3 月 18 日に策定した「えりも地域ゼニガタアザラシ特定希少鳥獣管理計画」（以下「管理計画」という。）に基づき、適切に事業を実施するために環境省が毎年度策定するものである。

管理計画は、えりも地域におけるゼニガタアザラシ個体群と沿岸漁業を含めた地域社会との将来にわたる共存を図るために、環境省が北海道、えりも町、漁業団体、漁業者、地域住民、関連団体、大学・研究機関等の多様な主体との連携により、個体群管理、被害防除対策、モニタリング等の手法を確立することを目的としている。この目的の達成に向け、平成 28 年度は次の事業等を実施する。

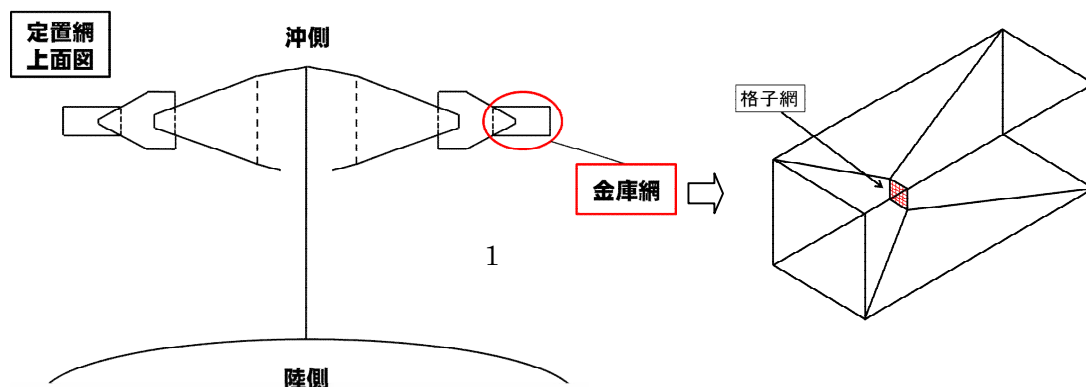
1 被害防除対策

漁業被害の軽減を図るため、これまで実施してきた各種の被害防除手法の検証結果を踏まえ、手法の改良や新たな手法の確立に向け、次の取組を実施する。なお、これらの手法には、漁業者の意見を十分に取り入れるとともに、研究者等を含めた協力関係の下で実施するものとする。

（1）漁網の改良

◆ 昨年度の試験により被害軽減が確認された定置網への入網を阻止する手法（格子網の装着等）により、被害を防除する漁網の改良をさらにすすめる。改良にあたっては、特に被害の著しい定置網における被害を軽減させるための手法の確立を目標として、下記の試験を実施する。

- ・ 春期及び秋期の定置網漁業期間に、襟裳岬周辺の特に被害が著しい定置網において格子網の装着による被害防除網（下図、写真）の試験を実施する。
- ・ 格子網は 2 種類の網目サイズ（20cm×20cm、25cm×25cm）を試行する。また、被害や操業の状況等に応じて効果的に格子網の着脱を行えるよう、装着時にはファスナー等を使用する。
- ・ これまで格子網を装着してきた金庫網の漏斗先のほか、中だまりの昇り口等においてゼニガタアザラシの入網を阻止する網を装着する。





格子網の装着状況(H27)



ファスナーによる格子網の着脱(H27)

- ◆ 報告会や協議会等の場において、改良試験の結果を地域に提示するとともに、より効果的な防除の取組み方等についての助言、提言を得て、次年度の実施計画に反映させることとする。

(2) 音波忌避装置の改良

- ◆ 昨年度の試験によりゼニガタアザラシの忌避効果が確認された音波をより効果的に発射する装置の開発のため、音波の発射頻度・範囲及び装置の形状等の改良試験を行う。忌避装置の改良にあたっては、漁網の改良との組合せにより被害軽減効果がより増大し、かつ長期間維持できる手法としての装置開発を目標として、下記の試験等を行う。
 - ・ 生け簀を用いたゼニガタアザラシの行動試験等を行い、忌避装置の音波の発射頻度・範囲等を改良するとともに、効果的な設置方法等を検討する。
 - ・ 形状や重量、電池寿命等が定置網周辺における装着に適した装置が開発された段階で、定置網周辺における試験の実施も検討する。

漁港に設置した生け簀(H27)

生け簀内のゼニガタアザラシ(H27)